

令和6年度第5回男女共同参画推進委員会

日時 令和6年8月22日（木）
午後7時から
場所 碧南市役所 談話室3

1 小学校での出張啓発およびアンケートについて

(1) アンケート案について

前回会議にていただいた意見をもとに修正（別紙1のとおり）

(2) 今後のスケジュール

8月中 意見をもとにアンケート最終版を作成（google フォームなど）

9月上旬 学校に配布

9月下旬 回答集計

出張啓発の内容について会議で検討

2 フォーラム・講演会について

(1) 内容

小池市長と長久手市長との対談案について、今年度は難しい
→代案を検討する必要有。

3 料理教室について

(1) 内容

- ・開催日時：11月23日（土） 午前10時から午後1時（仮）
- ・開催場所：あおいパーク 調理加工室
- ・対象：男性
- ・募集人数：未定
- ・メニュー：おにぎり、豚汁
- ・参加費：未定
- ・講座の流れ：別紙2参照
- ・募集方法：広報10月号に掲載およびチラシを作成し配布

(2) ネーミング案

- ①「男の料理教室：おにぎり と 豚汁 で 心 も 体 も 温 ま る ！ 」
- ②「男の料理チャレンジ：おにぎり と 豚汁 を 極 め る ！ 」
- ③「男の料理教室：おにぎり と 豚汁 で 家 庭 の 味 を マ ス タ ー し よ う ！ 」
- ④「男の料理教室：おにぎり と 豚汁 で 楽 し い ひ と と き を ！ 」
- ⑤「男の料理教室：おにぎり と 豚汁 で 料 理 の 腕 を 磨 こ う ！ 」

4 勉強会について

希望があれば、随時募集する

5 その他

今後の会議日程について

- ・ 9月19日（木）19時から 談話室3
- ・ 10月17日（木）19時から 談話室3
- ・ 11月21日（木）19時から 談話室3
- ・ 12月19日（木）19時から 談話室3
- ・ 1月16日（木）19時から 談話室3
- ・ 2月20日（木）19時から 談話室3
- ・ 3月20日（木）19時から 談話室3

No	質問	回答
1	回答者についてお答えください	①立場：「父親」、「母親」、「その他（ ）」 ②年齢：「20～30代」「40～50代」「60代以上」
2	家族構成について教えてください。	「核家族（親と子ども）」「三世代以上」
3	回答者様およびご家族の勤務形態について教えてください。	①回答者様：「フルタイム」「パート」「専業主婦または専業主夫」 ②配偶者様：「フルタイム」「パート」「専業主婦または専業主夫」「配偶者なし」
4	家庭内で家事は主に誰が行っていますか。	①料理：「主に妻」「半分ずつ分担している」「主に夫」「その他（ ）」 ②洗濯：「主に妻」「半分ずつ分担している」「主に夫」「その他（ ）」 ③ゴミ出し：「主に妻」「半分ずつ分担している」「主に夫」「その他（ ）」
5	家庭内での育児の役割分担について教えてください。	①習い事等への送迎：「主に妻」「半分ずつ分担している」「主に夫」「その他（ ）」 ②学校から呼び出しの際の対応：「主に妻」「半分ずつ分担している」「主に夫」「その他（ ）」
6	家事や育児の役割分担について、どのように決めていますか。 また、役割分担に不満はありますか。	①決め方：「夫婦で話し合っていて決めている」「その時々で、できる方が行う」「その他（ ）」 ②「満足」「概ね満足」「少し不満」「不満」

7	<p>学校におけるPTAなどの役割や、地域における町内会などの役割は、どちらが担うべきだと思いますか？</p>	<p>PTA：「母親が担うべき」「父親が担うべき」「どちらでもよい」</p> <p>町内会：「母親が担うべき」「父親が担うべき」「どちらでもよい」「町内会に加入していない」</p>
---	---	--

男料理教室 検討資料

1. 事前準備

レシピの確認：スタッフに必要な材料や手順を明確にするための事前練習会

2. 参加者とのコミュニケーション

自己紹介：最初に自己紹介をして、参加者との距離を縮める。

質問タイム：参加者の理解をふかめるために、料理の途中で質問を受け付ける時間を設ける。

3. デモンストレーション

見本を見せる：各ステップの前にデモンストレーションを行い、参加者が手順を理解しやすくする。

ポイントを強調：重要なポイントやコツを強調して説明する。

4. 楽しい雰囲気作り

音楽：軽い音楽を流して、楽しい雰囲気がさらに高める

。

5. 後片付けの協力

役割分担：後片付けの役割を参加者と分担して、スムーズに片付け。

感謝の言葉：参加者に感謝の言葉を伝え、次回の参加を促す。

1. テーマを設ける

季節のテーマ：例えば、秋なら「秋の味覚を楽しむおにぎりと豚汁」など、季節に合わせたテーマを設けると参加者の興味を引きやすい。

2. コンテスト形式

おにぎりコンテスト：参加者が自分のおにぎりを作り、見た目や味を競うコンテストを開催すると、楽しさが倍増。

3. 試食タイム

試食会：最後にみんなで作った料理を試食する時間を設け、感想をシェアすることで交流が深まります。

4. 料理の歴史や文化を紹介

おにぎりや豚汁の歴史：料理の歴史や文化についてのミニ講座を行うと、参加者の興味を引きやすくなります。

5. お土産を用意

レシピカード：参加者にレシピカードを配布し、自宅でも再現できるようにします。

おにぎり型：おにぎりを作るための型など、ちょっとしたお土産を用意する。

6. 写真撮影

記念写真：料理中や完成した料理と一緒に記念写真を撮り、SNS でシェアすることで次回
の参加者を増やすきっかけになります。

おにぎりの歴史

おにぎりの起源は平安時代に遡ります。当時、「頓食(とんじき)」と呼ばれる携行食があり、これが現在のおにぎりの原型とされています。江戸時代中期には、加工された板のりが普及し、現在のような形のおにぎりが一般的になりました。1970年代にはコンビニエンスストアが登場し、手軽に食べられるおにぎりが広まりました。

豚汁の歴史

豚汁の起源には諸説ありますが、明治時代に広まったとされています。特に薩摩地方では、豚肉を使った味噌汁が「薩摩汁」として親しまれており、これが全国に広まったと考えられています。豚汁は、寒い時期に体を温めるための料理としても人気があり、具材の多さから栄養価も高いです。